

企業価値を高める 戦略CFO研究会

テーマ

CFO(組織)による
事業革新・収益革新・組織革新
～成長投資、再編・撤退、経営資源配分的意思決定～

POINT 01

事業ポートフォリオ変革を
ファイナンス視点で推進する
実践知を学ぶ

POINT 02

ファイナンス思考による
成長投資、再編・撤退の
判断基準を学ぶ

POINT 03

CFO組織が自ら
事業利益創出に貢献する
FP&Aの導入事例を学ぶ

企業価値を高める戦略CFO研究会 テーマ

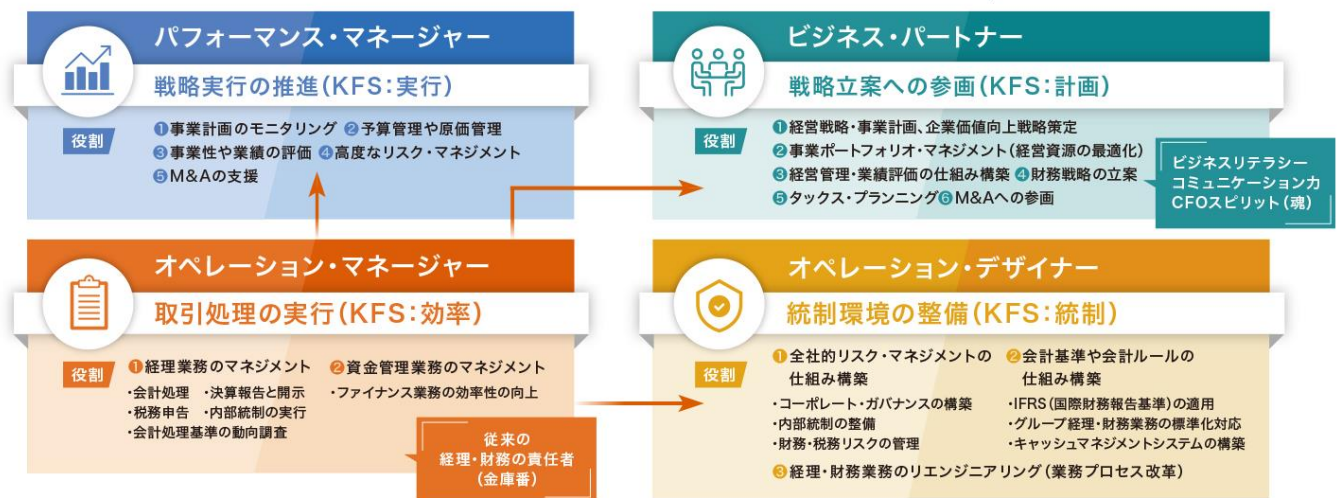
Theme

CFO（組織）による事業革新・収益革新・組織革新
～成長投資、再編・撤退、経営資源配分の意思決定～

金融庁が2026年半ばに改訂を予定しているコーポレートガバナンス・コード（企業統治指針）では、上場企業に対し、現預金を過度にため込まず、適切に活用しているかについて説明責任を求める方向です。背景にあるのは、企業が抱える巨額の現預金です。東証プライム上場企業の現預金残高は115兆円（2025年3月期末）にも達し、インフレ環境では、現金を保有しているだけで「実質的な目減り」が起こります。この問題意識は、上場企業に限らず中堅企業経営にも共通するテーマであると言えます。経営資源をどこに、どう振り向けるか——。“守り”一辺倒の財務から、“攻めと守りのバランス”を考える時代に入っているのです。戦略CFOは、ビジネスリテラシーとファイナンスリテラシーの両方を持って、経営者の企業参謀（ビジネスパートナー）として事業変革・収益構造変革・組織変革を主導し、成長投資とリスクコントロールによる企業価値向上を実現する存在でなければなりません。

当研究会で、企業価値を高める戦略CFOの最新の経営手法について、ともに学びましょう。

戦略CFOの役割は、オペレーション・マネージャーの枠を超え、
経営者の参謀として企業価値を高めること 1.戦略立案・実行し / 2.業績を上げること



企業価値を高める戦略CFO研究会 当日のスケジュール

Schedule



タナベコンサルティング 基調講義・まとめ講義

自社の真の価値を整理するため 経営的視点からの重要ポイントを講義

各回のテーマについて、基本的な考え方を弊社コンサルタントが講義。最後のまとめでは、各回で得た情報を総括し、自社に落とし込むための重要なポイントをわかりやすくお話しします。



夕食懇親会

ビジネスマッチングにも繋がる 出会いの場

同じ志、課題解決に取り組む参加企業、各回のゲスト企業と、交流・情報交換をします。
自社の課題解決の糸口や、新たなビジネスマッチングのきっかけにもなります。



優秀企業の講義

今必要とされる資本収益性を意識した 経営の事例を学ぶ

各回テーマの成功企業をお招きし、過程や失敗談も含めリアルな体験をお話いただきます。



個別面談

専門コンサルタントによる 手厚いフォロー体制

経営コンサルタントから、自社で実践するためのアドバイスや、参加企業との連携相談、御社トップに戦略をご理解いただくためのフォローも実施いたします。

企業価値を高める戦略CFO研究会 過去ゲスト

※ 今期の講演先ではありません

Past Guest Company

2026 年 2 月 開催回

Eat Well, Live Well.



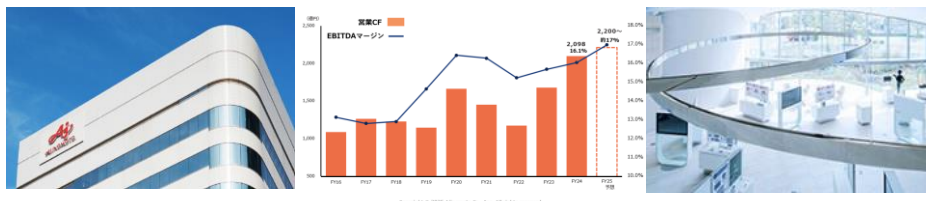
味の素株式会社

執行役常務 水谷 英一 氏

【経歴】 1988年に味の素株式会社へ入社。資金・財務および海外法人管理業務を経て、1995年より米国勤務。企業提携等業務の後に、2010年よりブラジル勤務。(ファイナンスおよびIT管掌取締役) 決算、税務および企画業務を経て、2019年にグローバル財務部長。その後2023年から執行役常務 財務・IR担当に就任。

データを活用したFP&A志向による パフォーマンス・マネジメントの実施

～社内外の様々なデータを活用し、将来のパフォーマンスに貢献、
企業価値を向上させる取り組みについて～



2026 年 2 月 開催回



元パナソニック株式会社

代表取締役副社長 川上 徹也 氏

【経歴】 松下社会科学振興財団の評議会議長、一橋大学CFO教育研究センター講師、日本証券業協会委員、日本CFO協会相談役、関西経済連合会評議員、株式会社ウィズ・パートナーズ監査役。

1965年に松下電器産業株式会社(現: パナソニックHD)へ入社し、2000年に取締役就任。その後、常務、専務、副社長を経て2007年より経理大学の学長を務め、2012年6月末に退任。

経営改革とCFOの役割

川上氏の信条は“Clean hands, Cool head, but Warm heart.”

これは、「お金に清潔で言行一致を大切に、数字を定量的かつ平常心で判断し、優しいという意味ではなく、相手の立場を分かろう、理解しようと耳を傾ける」ことを意味する。この信条とご経験に基づいてご講演いただく。

企業価値を高める戦略CFO研究会 過去ゲスト

※ 今期の講演先ではありません

Past Guest Company

2026 年 3 月 開催回



株式会社インテグリティ

代表取締役 田中 慎一 氏

財務戦略アドバイザー／欧州金融アナリスト協会連合EFFAS公認ESGアナリスト(CESGA)
監査法人・投資銀行で会計監査、IPO支援、M&A・事業再生・資金調達に関するアドバイザー業務に従事。現在は、買収後の企業変革、ターンアラウンドマネージャーとして買収先企業の再建に取り組むほか、上場企業のサクセッションプランの企画・支援、スタートアップの事業計画策定と資金調達の支援も手掛ける。

「事例で見る価値創造経営」をテーマに、利益の最大化だけではなく、キャッシュフローと資本コストを踏まえた“資本配分”の意思決定を軸に、成長と変革を実装する方法をケーススタディで解説いただく。

中堅企業にありがちな「投資判断が属人的」「DXが費用化する」「M&Aが“買って終わり”になる」「ESGがスローガンで止まる」といった課題に対する処方箋をともに考える。

企業価値を高める戦略CFO研究会 過去ゲスト

※ 今期の講演先ではありません

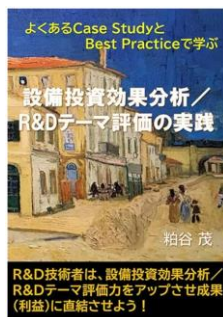
Past Guest Company

2026 年 5 月 開催回

ぷろえんじにあ

代表 粕谷 茂 氏

【経歴】 ソニー株式会社にてウォークマン、TV・VTR、産業用ロボット、半導体生産システムの開発に従事し、富士ゼロックス株式会社にて技術・人材開発を経験。同時期に、三菱総合研究所にて日本へのTRIZの普及研究を経て、ぷろえんじにあを起業。技術・人材開発コンサルティング、NEDO・ものづくり補助金等審査委員のほか、2023年度まで18年間にわたり山口大学の高度ものづくり特論講師を務めた。現在はINPIT、KIP及び韓日技術協力財団のアドバイザーとして活躍。



利益を逃さない意思決定をするための 設備投資効果分析・R&Dテーマ評価の実践法

粕谷氏は、設備投資効果分析を実施しても分かりやすいセミナーや実践的な書籍に出会わなかったために、企業が本来得られたであろう利益を逃しているケースを多々見てきたと言う。また生成AIを用いた分析も信頼性がない。そこで、現場でそのまま応用できるよう図解した設備投資分析法のケーススタディと、国内外企業のベストプラクティスを体系化したR&Dテーマ評価法とその活用法の二軸に分け、ご講演いただく。
またオリジナルノウハウ集「R&D意思決定チェックリスト」も配布予定。

2026 年 5 月 開催回



日本オラクル株式会社

NetSuite 事業統括 コンサルティング統括本部 理事 玉井 健志 氏

【経歴】 Oracle NetSuiteにて、プリセールスおよびカスタマーサクセスを統括している。ヒューレット・パッカード、DXCテクノロジーではマネージャー職、日本マイクロソフトではゼネラルマネージャー職、Landis+Gyrではディレクター職を務める。ソフトウェア開発、プロジェクトマネジメント、ITインフラ、クラウドコンピューティング、IT運用、データ分析、ERPに関する知識を有し、ゼロからチームを構築した実績も多数。

業務効率化と迅速な意思決定を支えるデータ基盤の整え方、 AIを成果につなげる DX 推進の考え方

AI時代の経営において、意思決定のスピードと精度が企業の競争力を左右する。社内に散在しサイロ化している情報を整理・統合し、信頼できる“ひとつの情報源 (Single Source of Truth)”を確立し、“経営の見える化”と“データドリブン経営”を実現することで、AIが本当に機能する組織への変革を可能にする。Oracle NetSuiteが提供する経営ダッシュボードやAI機能のデモを交えながら、業務効率化と迅速な意思決定を支えるデータ基盤の整え方、そしてAIを成果につなげるDX推進の考え方をご講演いただく。

企業価値を高める戦略CFO研究会 過去ゲスト

※ 今期の講演先ではありません

Past Guest Company

2026 年 8 月 開催回




ロイヤルホールディングス株式会社

代表取締役会長 菊地 唯夫 氏

【経歴】 1988年に早稲田大学を卒業し、日本債券信用銀行（現あおぞら銀行）に入行。フランスESSEC経済商科大学院大学（ビジネススクール）を修了後、頭取秘書役などを経て、ドイツ証券に入社し、投資銀行本部ディレクターを担当。2004年にロイヤル株式会社（現ロイヤルHD株式会社）へ入社。2010年に代表取締役社長、2016年に代表取締役会長兼CEOに就任、2019年より現職。

事業ポートフォリオと事業価値・企業価値向上
～ロイヤルグループの経営戦略～



2026 年 8 月 開催回

一橋大学



大学院経営管理研究科 経営管理専攻 野間 幹晴 氏

【経歴】 一橋大学商学部卒業、一橋大学大学院商学研究科博士課程修了。同大学院で博士（商学）取得。2002年4月より、横浜市立大学商学部専任講師。2004年10月より、一橋大学大学院国際企業戦略研究科助教授、准教授を経て、2019年4月より現職。主な著書に『退職給付に係る負債と企業行動—内部負債の実証分析』（2020年、中央経済社／2020年度第63回日経・経済図書文化賞、2021年日本会計研究学会太田・黒澤賞、2022年国際会計研究学会学会賞受賞、2022年日本経済会計学会学会賞）、『業績予想の実証分析—企業行動とアナリストを中心に』（奈良沙織との共著、2024年、中央経済社／日本公認会計士協会学術賞）、『二項動態経営 共通善に向かう集合知創造』（野中郁次郎・川田弓子との共著、2024年、日本経済新聞社）がある。

企業価値向上と資本コスト経営

企業価値低迷から脱却を目指す企業、そしてさらなる成長を目指す企業、それぞれの価値向上についてご講演いただく。特にROIC経営と資本コスト、CCC、キャッシュフロー経営、事業ポートフォリオの組み替え、同意なき買収などについて言及した上で、PBRとTSRIについてもご説明いただく。

企業価値を高める戦略CFO研究会 過去ゲスト

※ 今期の講演先ではありません

Past Guest Company

2026 年 10 月 開催回



株式会社サンリオ

常務執行役員 松本 成一郎 氏



【経歴】 CFA協会認定証券アナリスト(CFA)。慶應義塾大学理工学部を卒業後、みずほ証券株式会社のマーケット部門や投資銀行部門にて勤務。投資銀行部門では業界を代表する内外大型M&A、大型資金調達、IR活動のアドバイザー等を実施。上場スタートアップ企業の執行役員CFOを経て、2024年2月に株式会社サンリオに入社。

投資銀行→スタートアップ→伝統的企業という様々な経験の中で、異なる環境下において実践された挑戦の内容をご説明いただく。
またサンリオの経営改革について、経営管理の側面からどのように行っているのかをご講演いただく。

2026 年 10 月 開催回

sansan



Sansan株式会社

取締役CFO 橋本 宗之 氏



【経歴】 大学卒業後、リーマン・ブラザーズ証券株式会社に入社し、東京およびニューヨークで約9年間勤務。主に通信・メディア・IT業界を中心とした、国内外の企業のM&Aや資金調達のアドバイザー業務に従事。その後、日本政策投資銀行のグループ企業で、プライベート・エクイティ投資や投資先企業の価値向上業務に携わる。2017年にSansan株式会社へ入社。2018年にCFO、2020年に取締役に就任する。



企業価値を高める戦略CFO研究会 過去ゲスト

※ 今期の講演先ではありません

Past Guest Company

2026 年 12 月 開催回

C Channel



C Channel株式会社

代表取締役社長 森川 亮 氏

【経歴】 1989年に筑波大学を卒業後、日本テレビに入社。1999年に青山学院大学大学院の国際政治経済学研究科修士課程を修了し、MBAを取得、その後はソニーに入社。2003年にはハンゲームジャパン(現LINE株式会社)に入社し、07年に社長就任。2015年3月、同社代表取締役社長を退任し、同年4月にC Channel株式会社の代表取締役社長に就任。2020年5月にC Channelは東京証券取引所TOKYO PRO Marketに上場。現在はREAL VALUEにも出演するなど、多方面で活動している。

イノベーションを起こすマネジメント



企業価値を高める戦略CFO研究会 参加者特典

Participant Benefits

気になる方は
まずは試し読み！



参加者全員に進呈！

コーポレートファイナンスコンサルティング事業部 福元 章士 著

コーポレートファイナンス戦略 中堅企業が実践すべき財務戦略

ダイヤモンド社刊・定価1,760円（税込）

本書は、収益・財務戦略構築を専門分野とし、幅広い業界でコンサルティング実績の持つコンサルタントが執筆しました。
中堅企業の成長を支えるために何が必要なのか、ファイナンス思考で「成長の壁」を突破するためのメソッドをご紹介します。



企業価値を高める戦略CFO研究会 リーダー紹介

Leader Introduction

企業価値を高める戦略CFO研究会リーダー 鈴木 幸宏

当研究会では、著名な CFO や CFO 経験者、経営者、教授など多彩なゲスト講師の講義や事例紹介、タナベコンサルティングの講義を通じて、企業価値向上について研究します。企業価値向上と持続的成長の実現には、経済的価値と社会的価値の両方の向上が必要です。即ち、中長期視点での「成長と稼ぐ力の強化」と ESG 経営への取り組みが重要であると言えます。そのために、ROE・ROIC を軸とする財務リテラシー、ファイナンス思考の向上、資本コストを意識した経営の実践と ESG 経営の開示・説明および実践について学び、自社にどのように活かしていくのかを一緒に研究して参りましょう。

Profile

メガバンクにて融資・外為・デリバティブ等法人担当を経て、当社入社。「企業を愛し企業繁栄に奉仕する」を信条とし、経営戦略・収益戦略を中心に幅広いコンサルティングを展開。企業を赤字体質から黒字体質にV字回復させる収益構造改革、成長企業に対するホールディングス化とグループ経営推進支援、ファイナンス視点による企業価値向上、投資判断、M&A支援の実績を多数持つ。また、オーナー企業に寄り添った事業承継支援、経営者(後継者)育成も数多く手掛け、高い評価と信頼を得ている。

こんな方はぜひ
ご参加ください

- ✓ 低PBR(ROE×PER)の要因分析・改善の処方箋を得たい方
- ✓ 東証要請の「資本コスト経営」や「ROIC経営」の実践知を得たい方
- ✓ ファイナンスを武器とした成長投資判断と経営改革を実践したい方



企業価値を高める戦略CFO研究会 開催日程と申し込み要項

Event dates and application requirements

開催日時

第1回 2027年 02月 24日 (水)

第2回 2027年 04月 16日 (金)

第3回 2027年 06月 18日 (金)

第4回 2027年 08月 27日 (金)

第5回 2027年 10月 22日 (金)

第6回 2027年 12月 17日 (金)

開催時間／開始 12:30～終了 17:00

※日程・開催時間等は変更になる場合がございます。予めご了承ください。

研究会参加者(全回参加の方のみ)には
ファーストコールカンパニーサミットの
視聴アカウント付き！

詳細は、弊社ホームページをご参照ください。

開催概要

受講対象

上場企業・中堅企業・中規模企業の経営者(後継者)
または、経営企画・経理財務・コーポレート部門の責任者など

定員

30名様

会費

お1人様(全6回通し)

561,000円(税込)

1名様追加料金(同一企業様) 1回/77,000円(税込) 全6回通し/495,000円(税込)

同一企業内であれば
お申込みされた方以外の受講もOK！

【申込期限】 各研究会、開催日の1週間前までにお申込みください。

※事情により、お申込みをお受けできない場合がございます。予めご了承ください。

【受講取消】 1. お申込み期限日(第1回開催の1週間前、同一企業様からの追加お申込みの場合は

各回開催の1週間前)までの取消につきましては全額返金いたします。

2. お申込み期限日の翌日からの取消につきましては代理受講をお願いいたします。

代理受講が不可能の場合は以下の通り取消料を申し受けます。ご了承ください。

① お申込み期限日の翌日から第1回開催日の前日

(同一企業様からの追加お申込みの場合、各回開催日の前日)：会費の40%

② 第1回開催日以降(同一企業様からの追加お申込みの場合、各回開催日当日以降)：会費の全額

お申込み

ホームページからお申込みください。詳細もこちらからご覧いただけます。

タナベ CFO研究会

E-mail | soken-lab@tanabeconsulting.co.jp

※ 弊社ホームページの研究会参加要項に掲載されている研究会規約をお読みの上、お申込みください。研究会規約 <https://www.tanabeconsulting.co.jp/t/lab> ※研究会の会費には教材費、懇親会費を含みます。交通費・宿泊費は各自手配・ご負担いただけます。※お申込み受付後、ご請求書をお送りいたします。会費の前納をもってお申込みとさせていただきます。※状況により懇親会が実施できない場合がございます。予めご了承ください。※ご希望回のみ参加されるには、必ず他に1名さま以上の全回参加のお申込みが必要です。

【個人情報のお取り扱いについて】タナベコンサルティングでは個人情報の保護に努めております。詳細は弊社ホームページ上に記載の「プライバシーポリシー」(<https://www.tanabeconsulting.co.jp/t/policy.html>)をご覧ください。なお、ご記入いただいたお客様の個人情報は、上記のお申込みに関する確認・連絡、および弊社発行のメールマガジンや商品・サービスのご案内などをお送りする際に利用させていただきます。